様式３(2015.06改)

作成日　平成30年12月11日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391000078
事業所名	グループホーム名古屋荒子の家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	開設から11年となり、回覧版も廻ってきています。果物や花のおすそ分けが日々重ねられ、町内会とは円満ですが、子どもが少なく高齢者の多い静かな住宅地とあって、交流そのものは併設の小規模多機能事業所に通ってくる利用者とのふれあいが主となっています。雛祭りには皆で時節のお菓子を堪能し、ゲーム大会では大勢で興じる日もあります。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	運営推進会議は施設建物の大家、花屋の店主、家族といった近所の皆さんに支えられて、併設事業所と合同で年6回の開催を遂げています。また防災訓練と併催した折には、消防署から水消火器の使い方指南も受け、メンバー構成としては地域のミニ防災訓練となり、目前の5階建てビルのオーナーからは「いつでも避難場所にしていいんだよ」と心強い言葉も得ています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	運営推進会議における区役所からの出席はないものの、地域包括支援センター職員は極力出席の方向で毎回検討くださっています。またその関係から「（当地域の状況を鑑みて）認知症カフェをやったらどうか」とのアプローチとともに「ここで認知症カフェをやっているよ」「認知症カフェを運営する事業者の交流会があるよ」と貴重な情報もくださっています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	家族は多い人で週4回、少ない人でも月1回の来所があって、そこでコミュニケーションを十分とっています。事業所の職員と家族とがほぼ同年齢ということもあって、「話しやすい」「若い人にはわからないかも知れないが…」といった向きの言葉がよくこぼれていて、職員の年齢と経験が意見収集へと大いに貢献しています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	―	―	―	―	○	○	○	○	○	◎	